

柳川 大川入山

沢登り

2022年07月10日(日)

参加者：坂野、松野、宮本、佐藤Y、桐林（記）



増水し白濁した廊下

前日の夕方より、雨が降り出した。もしや中止かと思っていたところ、会長から「行くきはあるか」のメッセージが届いた。「もちろん行く気しかありません」と返す。賛成多数により決行とのこと。Goが出た。しかし、浜松市内は、Jアラートで川の氾濫警報がスマホから鳴り響き、その夜は眠れなかった。

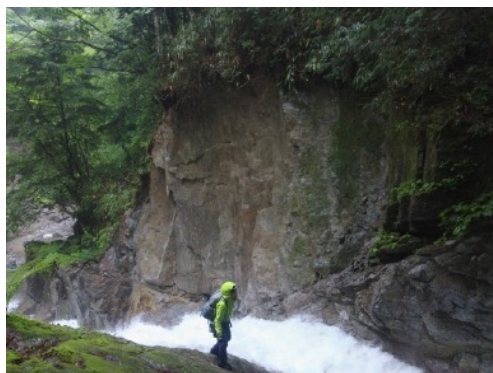
浜松を4時過ぎに出発。集合時も雨。移動中も雨。とりあえず取り付きを見て判断することに決まり、堰堤の先に降りた。水量は多くなく、濁りはない。遡行することに決まった。来週の信濃俣河内の装備確認も兼ねており、ダメならすぐ引き返すスタンスで入渓した。

歩いて30分ぐらいのところ、沢が狭まった廊下の先に白い滝が轟々落ちているのが見えた。水深は膝上ぐらいだが、白濁していて怖い。滝の手前の壁を乗り

越えて、思ったよりも難しくなく突破。念の為会長がロープを出した。水量に怯えたと、恐怖感を煽られる。その後も、雨に打たれつつ、先へ進んだ。

2時間を過ぎた頃、1段目の釜がいかに深そうな3段目の滝になっているところにおち当たった。先の滝の状態がわからず、左岸側から登り、確認。3段目の滝がヒョングっているほどの水量でこれはダメ。通常は左岸をへつって落口に降りるとのこと。そのまま高巻き、杣道に当たった。「これ以上進んでも面白いところはない」との会長の一声。3時間弱の遡行で終了。杣道をそのまま南下し、登山道に合流。

13時前には車に戻った。雨が止み、ゆったり着替えることができた。800円に値上げしたひまわりの湯に入り、早い帰宅となった。



緩やかな傾斜の滝